

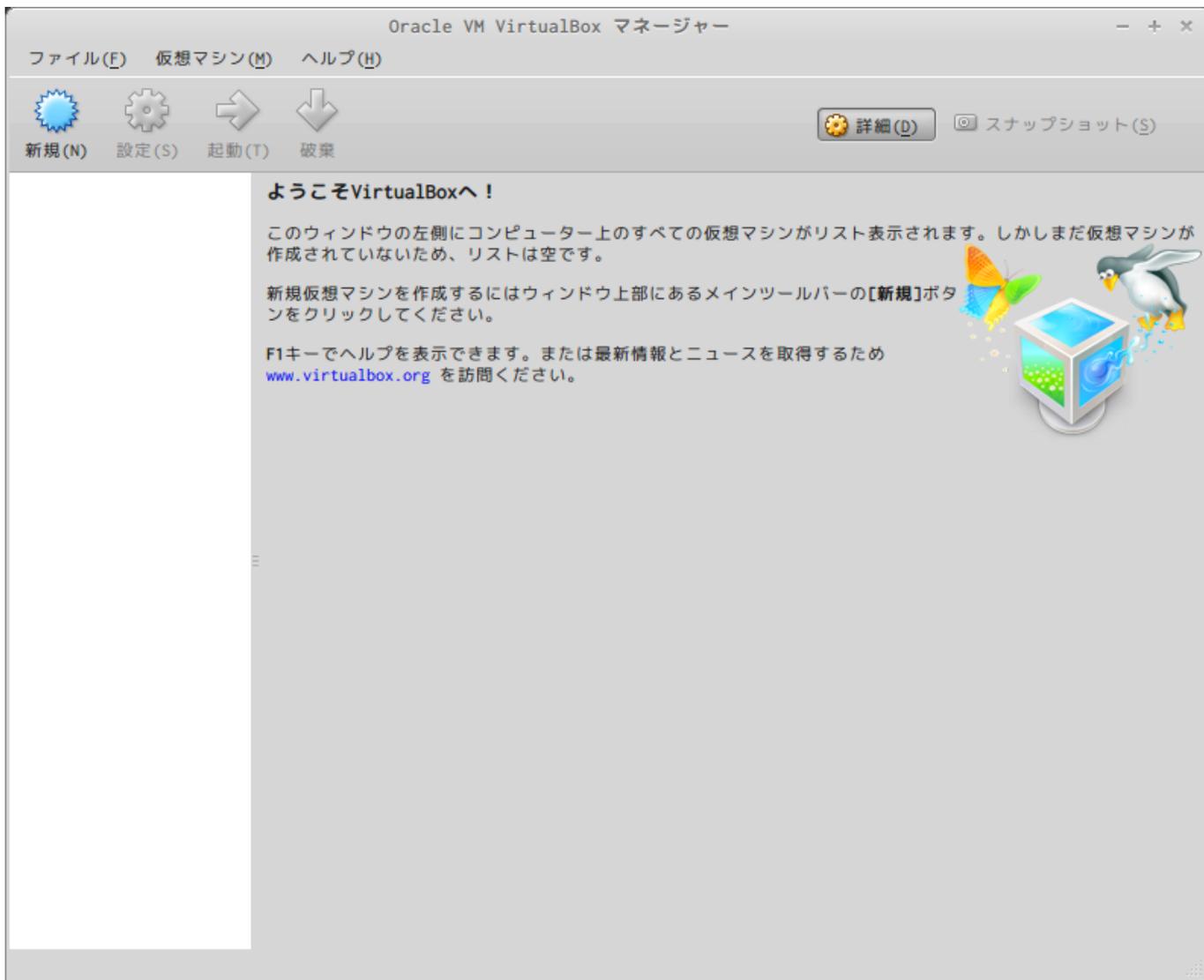
目次

開発環境用仮想マシンのセットアップ (Obsolete)	1
<i>Bash on Ubuntu on Windows</i> での開発について	1
Lubuntuの入手	3
仮想マシンの追加	3
名前とオペレーティングシステム	3
メモリーサイズ	3
ハードドライブ	4
仮想マシン追加完了	7
Lubuntuのインストール	8
インストールメディア ISOの設定	9
仮想マシンの起動	11

開発環境用仮想マシンのセットアップ (Obsolete)

MA-E3xxシリーズは、Ubuntu Linuxを採用していますので、クロス開発を行うにもUbuntu Linuxを使用すると便利です。

仮想化ソフトウェアにはVMware/VirtualBox/Parallels/KVM などがありますが、ここでは例としてVirtualBoxを使用します。



Bash on Ubuntu on Windows での開発について

Windows10 で、Bash(Ubuntu 14.04LTS環境) が動作するようになりました。
この環境で開発できるかと思いましたがbinfmt-support が動作せずQEMU-static による ARM 環境のエミュレーションが動作しないため、
現状は Windows では仮想マシン上に Linux をインストールする必要があります。

```
root@Win:~$ sudo dpkg-reconfigure binfmt-support
initctl: Unable to connect to Upstart: Failed to connect to socket
```


Lubuntuの入手

Ubuntu Linuxそのものでも良いのですがGUIの使い勝手がWindowsと異なるためWindowsに慣れているユーザにはLubuntuのほうが使いやすいと思います。

Lubuntuを[公式サイト](#)から入手します。

仮想マシンの追加

名前とオペレーティングシステム

“新規(N)” をクリックし、新規仮想マシンを作成を行います。
名前は“Lubuntu”としています。



“バージョン(V)” は、32bit版を選択した場合は 32bit に変更してください。
設定したら、“次へ(N) >” をクリックして次へ進みます。

メモリーサイズ

仮想マシンに割り当てるメモリーサイズを設定します。
ホストマシンのメモリー容量が大きい場合、より多く割り当てこともできます。



設定したら、“次へ(N) >” をクリックして次へ進みます。

ハードドライブ



“仮想ハードドライブを作成する(C)” のままでOKです。
“作成” をクリックして仮想ハードドライブを作成します。

ハードドライブのファイルタイプ



他の仮想化ソフトウェアと相互運用を行う場合、他の形式を選択する場合がありますが、デフォルトのまま(VDI)で構いません。

“次へ(N) >” をクリックして次へ進みます。

物理ハードドライブにあるストレージ



図の説明のとおりですが、仮想マシンのディスクアクセス速度を重視する場合、“固定サイズ(F)” を選択します。

通常は “可変サイズ(D)” のままでOKです。

“次へ(N) >” をクリックして次へ進みます。

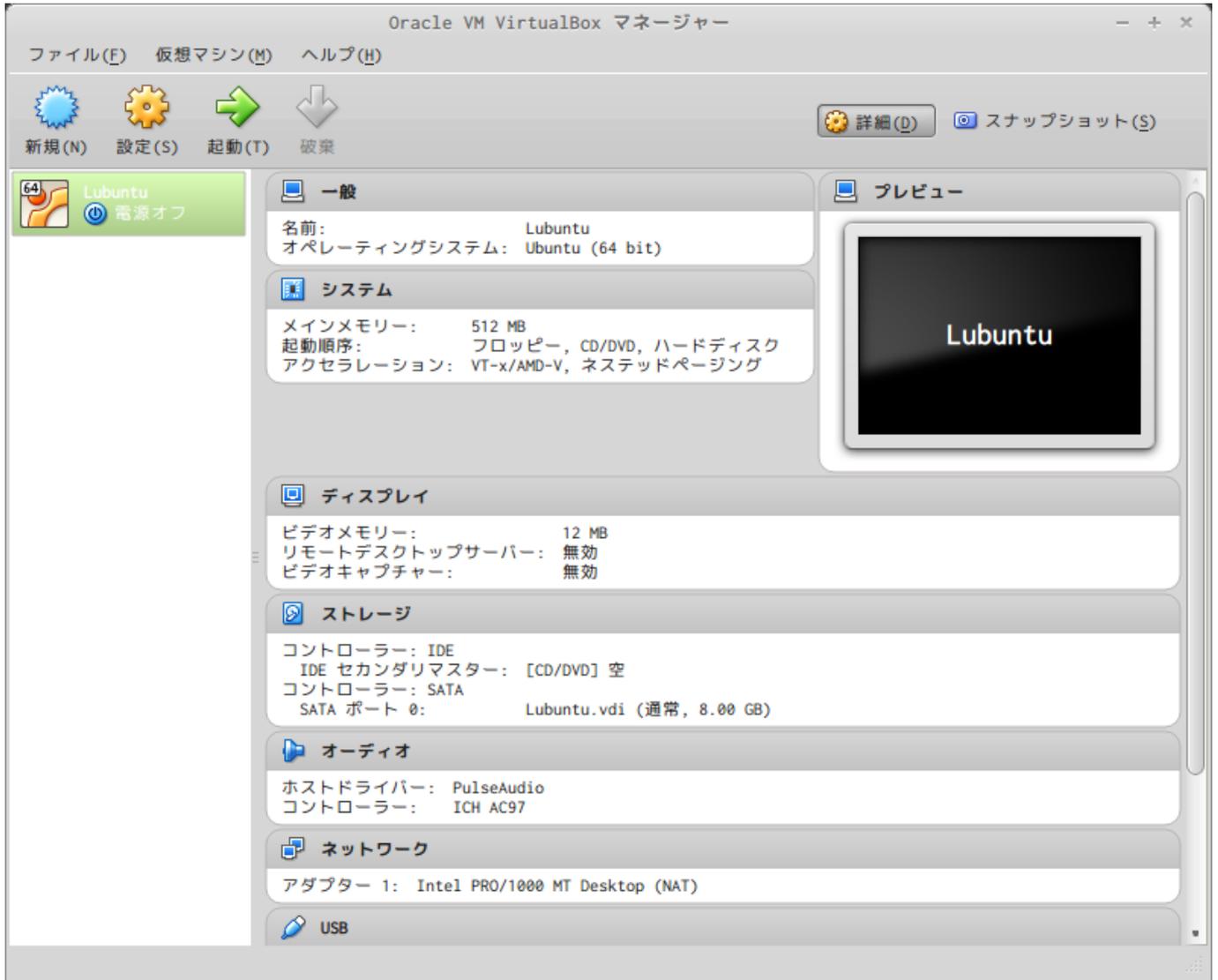
ファイルの場所とサイズ



“作成” をクリックして仮想ハードドライブを作成します。

仮想マシン追加完了

仮想マシンが追加されました。



Lubuntuのインストール

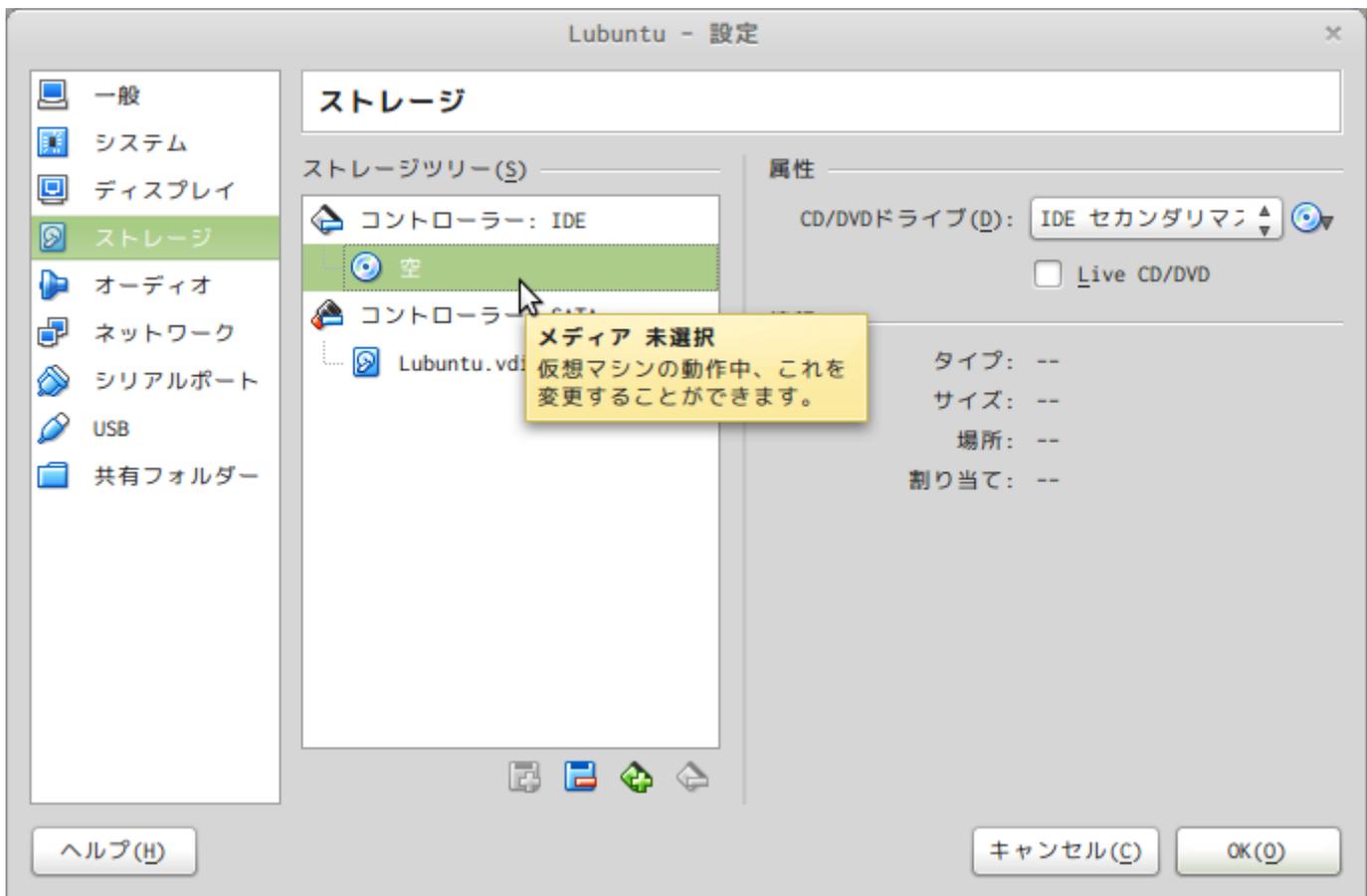
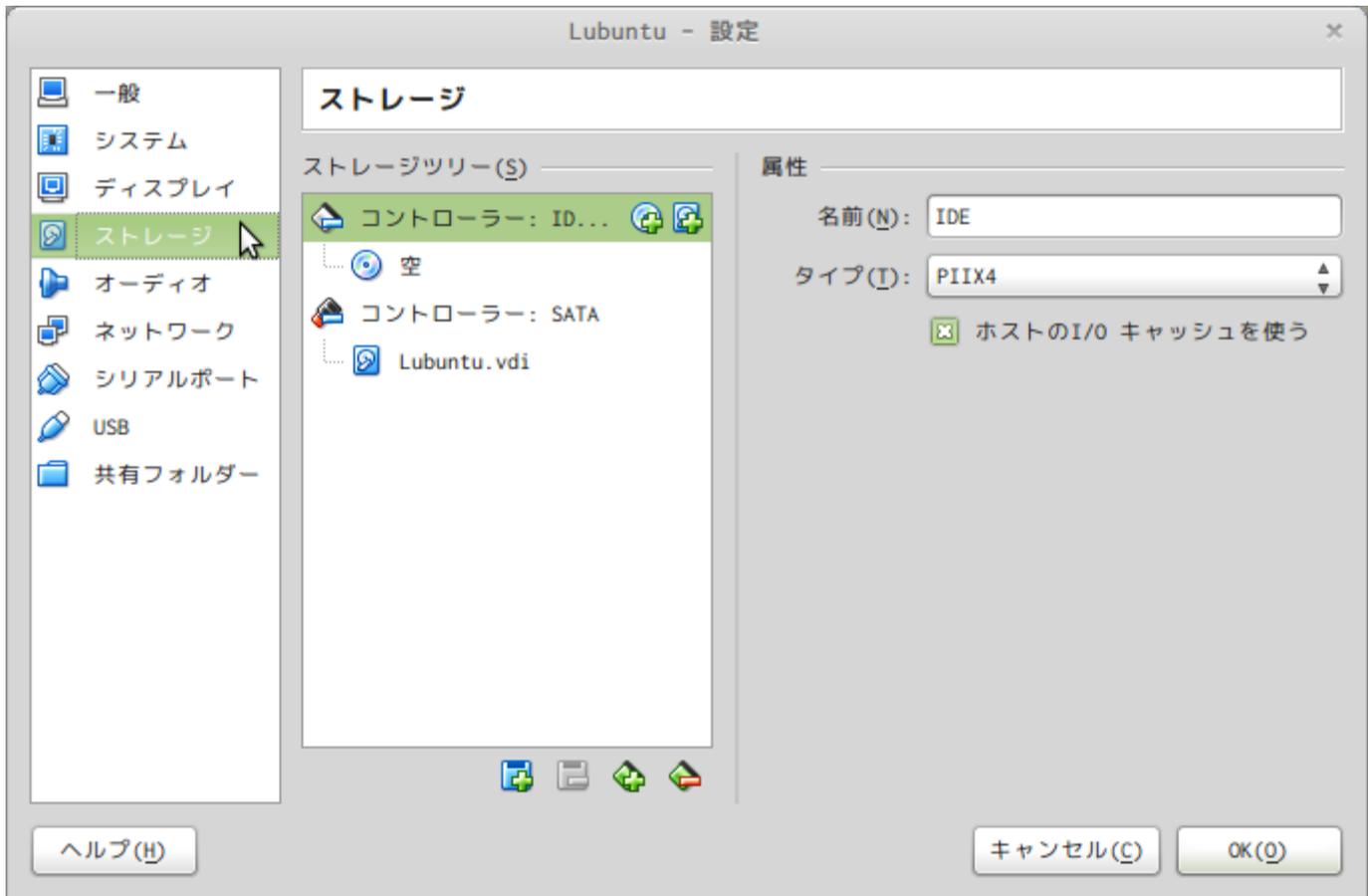
仮想マシンが追加されましたのでLubuntu Linuxをインストールします。

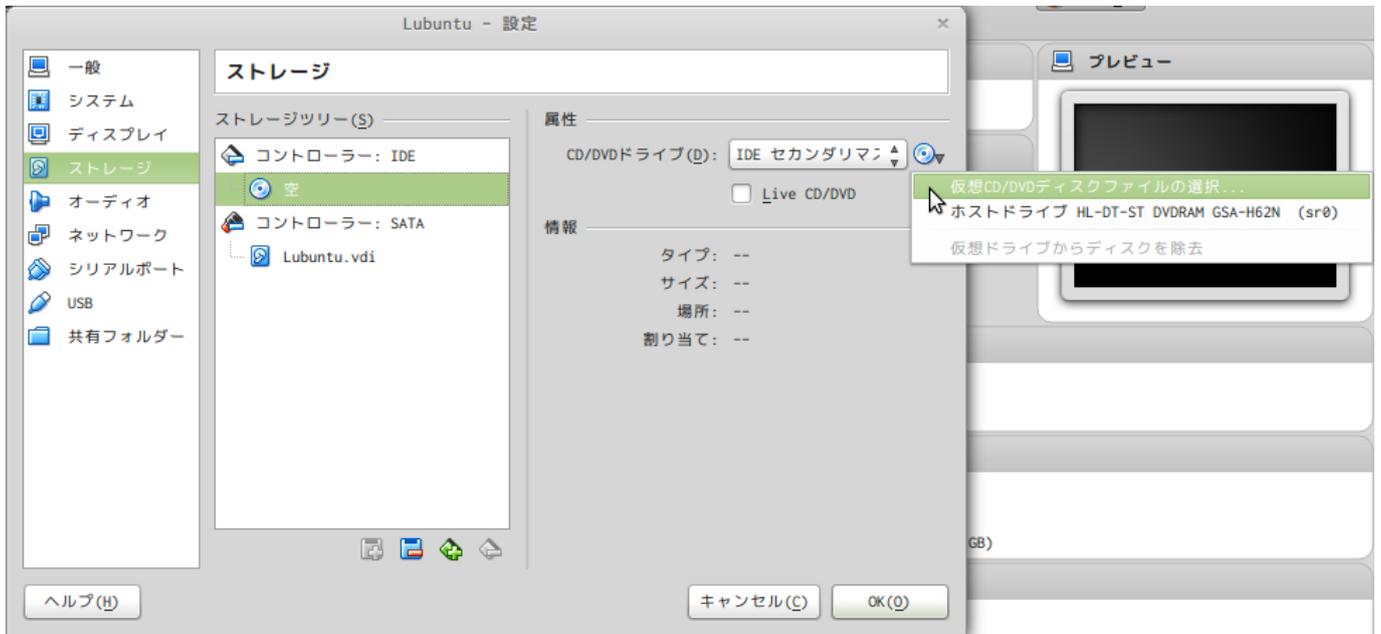


“Lubuntu” が選択されている状態で、“設定(S)” をクリックします。

インストールメディア ISOの設定

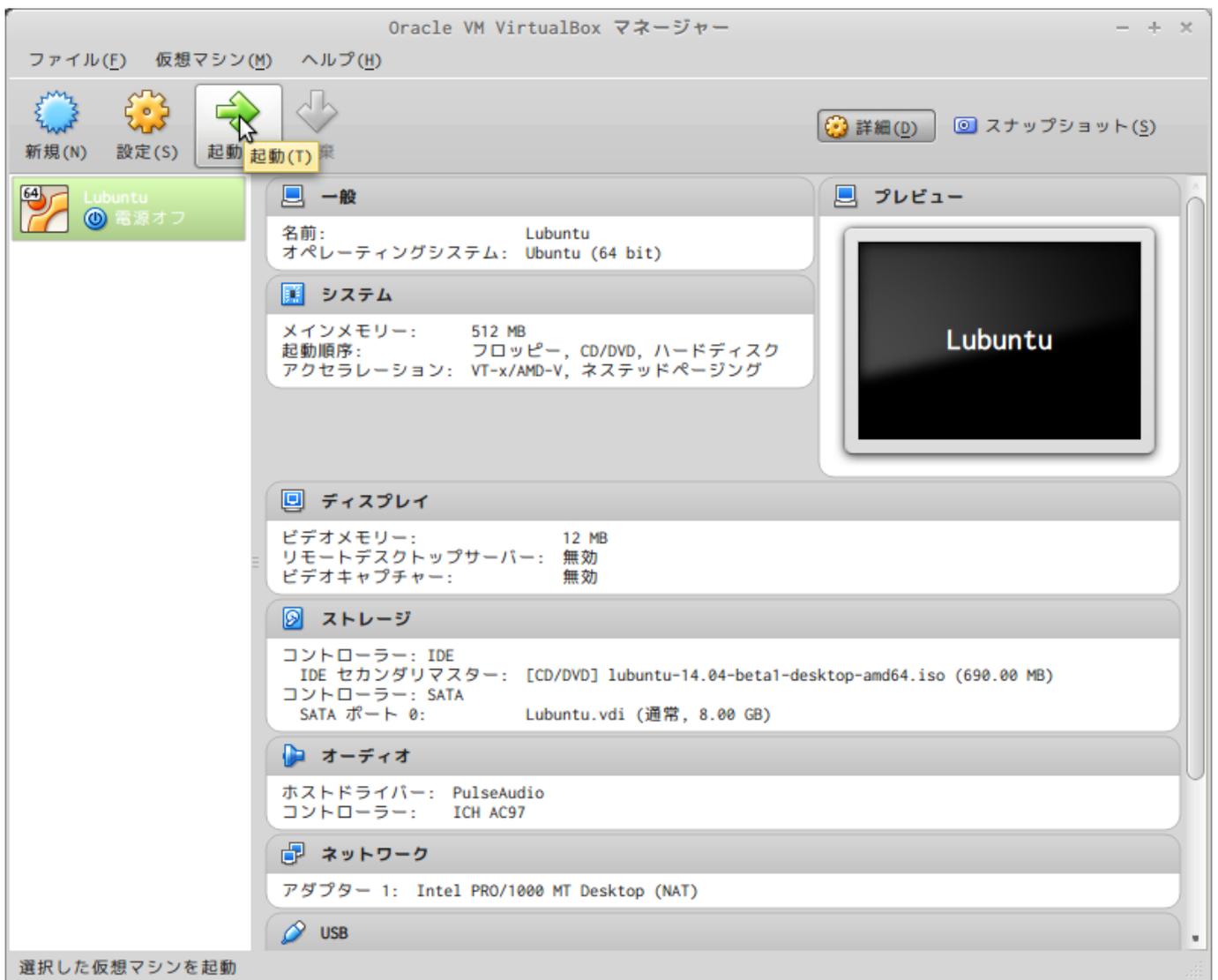
“ストレージ” をクリックし、さきほどダウンロードしたインストールメディアを追加します。





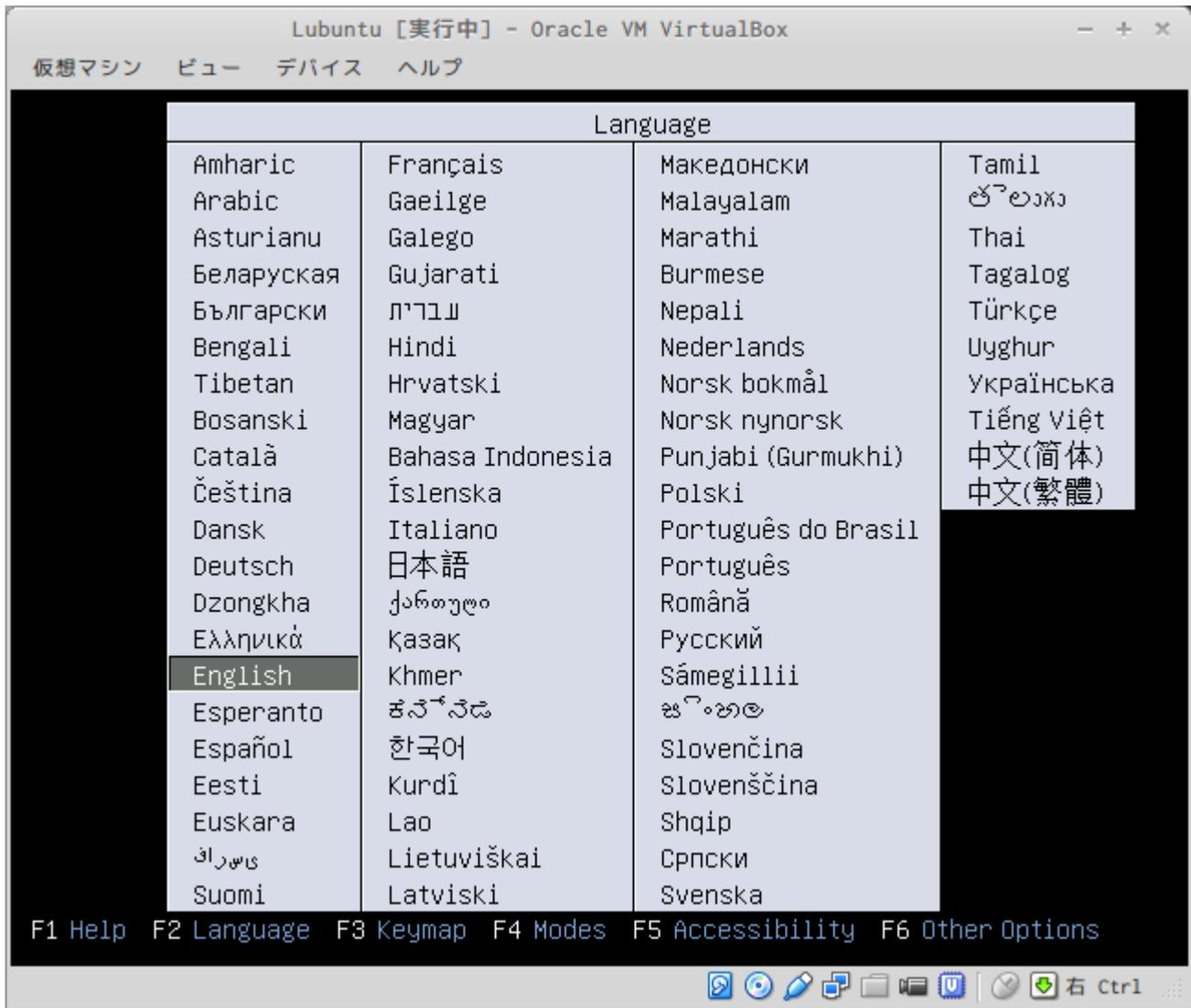
仮想マシンの起動

ISOイメージを追加したら、“起動(T)” をクリックして仮想マシンを起動します。



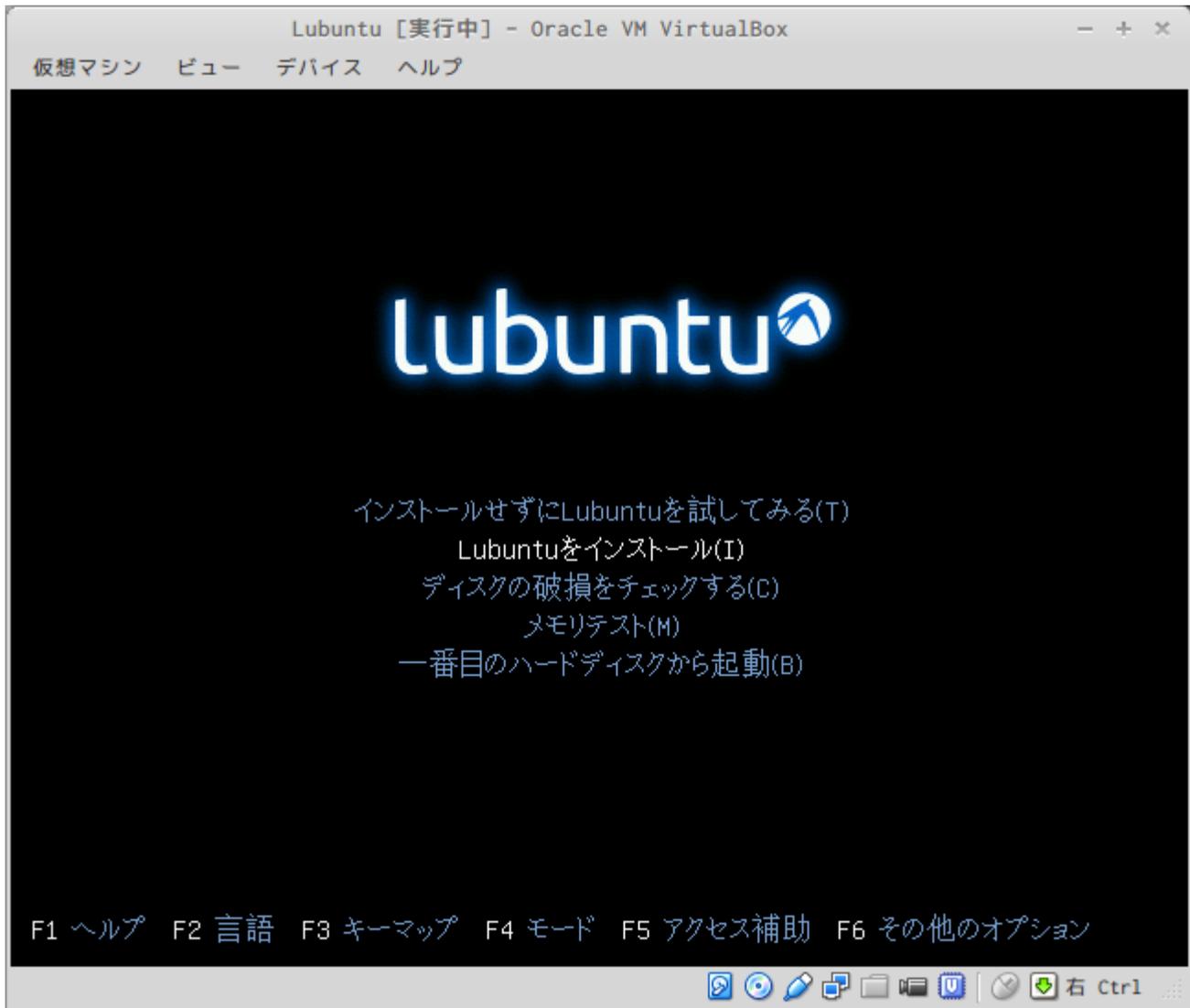
インストール言語の選択

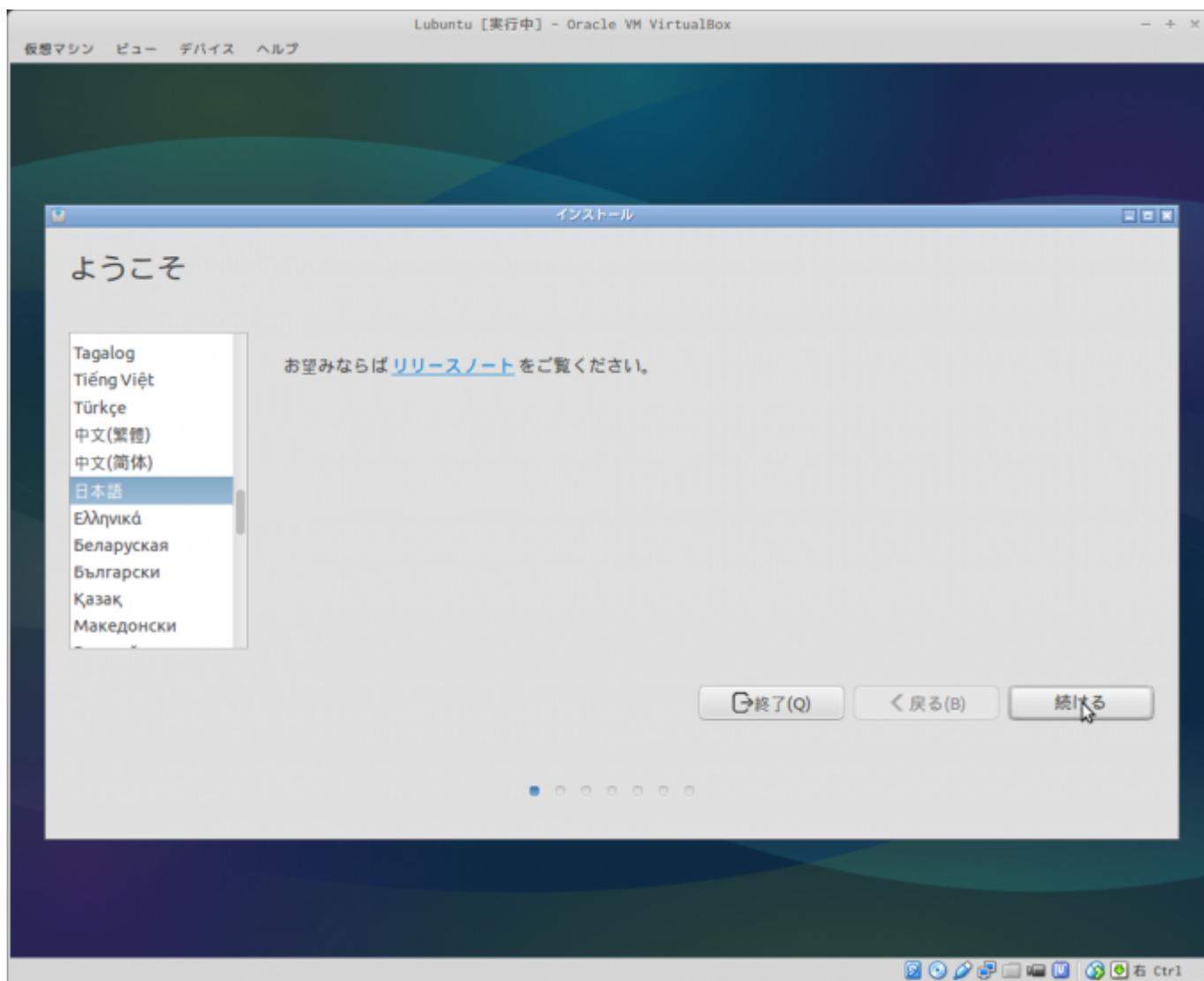
インストール言語の選択画面になりますので、“日本語”を選択します。
“English”のままでもかまいません。



インストールの開始

“Lubuntuをインストール(l)”を選択し、インストールを開始します。





From:

<https://ma-tech.centurysys.jp/> - **MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' Wiki**

Permanent link:

https://ma-tech.centurysys.jp/doku.php?id=mae3xx_devel:setup_os:start

Last update: **2019/01/11 20:16**